

3月5日に、愛媛県男女共同参画センターと松山市男女共同参画センター共同で愛媛県男女共同参画センター研修室に於いて、下記セミナーが開催されました。

相談室がおくる 思春期子育て応援セミナー

# 子どもとSNSトラブル

～親が学ぶインターネットとのつきあい方～



渡辺真由子さん



## 《セミナー開催の趣旨》

ピコ太郎の「PPAP」の動画をカナダ出身のジャスティンビーバーが「僕のお気に入り動画だよ！」とツイートしたところ、世界に拡散し、大ブレイクしたのは記憶に新しいところです。

本人が意図出来ない事が起きるのがネット社会なのです。

「LINE いじめ」や「リベンジポルノ」「個人情報の流出」など子供達のネットを取り巻く状況は大人も把握しきれなくなっています。

まず、大人がインターネットの現状を知り、特徴とリスクを理解したうえでお互いを尊重できる人間関係について、子ども達と話をするきっかけにさせていただくためにセミナーを開催しました。

## 講師にお招きした渡辺真由子（わたなべ まゆこ）さんのプロフィール

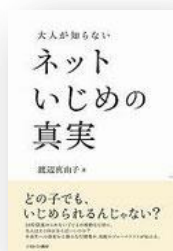
元テレビ局報道記者。いじめ自殺と少年法改正に迫ったドキュメンタリー『少年調書～16歳の自殺遺族は何と闘ったか』で日本民間放送連盟最優秀賞などを受賞。

18年以上にわたりネット時代の子どもを取り巻く「性」や「いじめ」などの人権問題を取材。10年にわたり慶応大学などでメディア論の教鞭を執った他、執筆・講演活動、テレビのコメンテーター、平成27年度内閣府青少年問題有識者会議委員などを務める。

～♪セミナー講師の渡辺真由子さんの著書の一部をご紹介します♪～



①



②



- ① 「リベンジポルノ」
- ② 「大人が知らない ネットいじめの真実」

コムズ2F図書コーナーにあります。

# 講演内容

## I. 【なぜSNSはトラブルを招きやすいのか？】

### ◆ 24/7、10秒ルール

学校でのいじめは 学校にいる間で起こるものであるが、ネットでのいじめは、24 時間 週7日（四六時中）起こるもの。10秒以内に返信する暗黙のルールが存在する。

### ◆ 「顔を合わせない」気のゆるみ

### ◆ 拡散性

データは簡単にコピー&ペーストが出来る。



### 【対策キーワード＝SNSリテラシー】

SNSの特徴を理解した上で、効果的なコミュニケーションに活用したり、情報の危険性や真偽を判断する。



## II. 【SNSの3大トラブル】

### ① 個人情報の流出

SNSの個人情報が悪用される危険性

#### ◆ ストーカー化

#### ◆ 出会い系サイトなどへの転載

#### ◆ 「悪ふざけ投稿」もきっかけになる⇒

・ 集団心理の罠（仲間ウケを狙っている）

・ 仲間内でヒーローになれる事で、「もっと凄い事をやってやろう」



### 【「個人情報流出」のリテラシー】

SNS使用時の注意点

#### ◆ プロフィールは必要最小限に

#### ◆ 公開設定を確認

#### ◆ 特定の地名や画像を出さない

・ 画像はGPS OFFで撮る

・ 現地から発信（アップ）しないで、時間差か過去形で発信する

#### ◆ 画像掲載は許可を取ってから（肖像権）

#### ◆ 過去の投稿を再チェック（炎上対策）



## ② ネットいじめ

- ◆LINE 等での悪口、無視、仲間はずし
- ◆顔写真や個人情報の無断利用
- ◆「なりすまし」いじめ ◆動画掲載

⇒ 暴行事件や不登校、自殺へ発展も!



### 【「ネットいじめ」のリテラシー】

- ◆加害者
  - ・匿名ではない! (調べる事が出来る)
  - ・記録性と保存性 (残ってしまう)
  - ・「文字コミュニケーション」の危険性 (誤解等を生む可能性)
  - ・承認欲求 (家庭内等で認められていない)



誰かに認められたい⇒心に満たされないものがあると攻撃的になる。

### ～言葉かけや態度が大事～

- ◆被害者
    - ・証拠保存をして相談
    - ・「お互い尊重」のルール決め (お互い忙しい時は返信しなくてよい)
- 送信して返信されない⇒ 不安 ⇒ 怒りになる



## ③ リベンジポルノ

相手の性的な画像や動画を、同意なしに公開・拡散する事

**加害者が100%悪い! 被害者は心から相手を信頼、信用している。**

- ◆恋人間 ◆ネットで知り合った相手

⇒ SNS (LINE Twitter Facebook) 上で多発

※「デートDV」の可能性も!

### 【「リベンジポルノ」のリテラシー】

- ◆撮らせる側
  - ・ノリの悪い奴と思われたくない
  - ・コンプレックスがあると⇒「きれいだよ」と言われると、自分を肯定してくれたと思う。
  - ・親からの愛情を感じられなかった⇒彼が愛情を与えてくれた。



愛情を求めて「自分の体を切り売りする」

#### —性的な撮影に応じるとどうなるのか—

簡単にコピー&ペーストされる。自分の人生の破壊スイッチとなる。

- ◆撮る側
    - ・問題は「撮った後」
- 犯罪になる可能性がある事をしっかり認識をする事**

※ 2014年施行「リベンジポルノ防止法」 ・公表罪 ・提供罪

## ※ネットトラブルの被害にあってしまったら！

### ☆まずは証拠の保存！

- ・親、先生に相談 ⇒ 注意点＝被害者を否定しないこと。
- ・削除依頼、発信者情報開示請求（ネット上の削除は管理人やプロバイダへ）
- ・電話相談（いじめ相談ダイヤル、法務省みんなの人権110番など）
- ・ネット相談（法務省ネット人権相談、web カウンセリング協議会、セーフラインなど）  
※セーフラインは本人に代わり国内外のプロバイダに削除依頼申請をしてくれる。  
（「全て」は約束されない場合がある）
- ・警察へ相談（名誉棄損・侮辱罪など）

## Ⅲ. 【楽しいSNSライフのために】

《Social Networking Service》は、個人同士のコミュニティーを容易に構築できる場を提供しているサービス。うまく活用すれば、便利で楽しい生活が送れるもの。

どのようなトラブルが起きるかを想像して使用する事で、ネットで他人を気付けない、自分も傷付けない子どもへ。

～キーワードは「想像力」！～



## Ⅳ. 質疑応答

Q.1 カナダのSNS教育は？

A.1 1986年にメディアリテラシーを発信

- ・自分の頭で読み解く
- ・恋愛関係は、まずお互いを理解して尊重する。



Q.2 ネット被害者の支援団体の現状は？子供が心を開く相談窓口は？

A.2 電話で、街に出て、相談を受けている。

面接相談は、話しやすいカフェのようなインテリアで、受付は大学生等若い人が担当。受付窓口で、相談スタッフの年齢、似顔絵、モットー、ニックネーム、が分かるようにしている。最初の段階では、親や警察に知らせる事はせず、信頼関係が出来て、子供が納得出来てから「やっぱり親に言った方がいいよね。」と言うようにしている。

Q.3 SNSいじめが分かった時、学校の実際の対応策は？

A.3 加害者の親も学校に呼んで対策を一緒に考えるようにしている。

ニュース等を見た時に、親子で日頃から話題にしておく。

～「どうしたら被害を受けなかったんだろうね？」と～

# ～参加いただいた方々からのアンケート回答～

## 【参加された理由は？】

- ・中学生が不登校になったきっかけの中に、友人とのラインによるネット外し…などが原因。しかし、子どもから親がこのことは決して学校や相談機関には知らせないでほしいと言っている…などの話を聞いていたことがあったため、何とか解決の方向、トラブルの回避の方向性を知りたいため。
- ・私達の分からないところでトラブルが発生した。何をするのがいいのか少しでも理解しておきたい
- ・10代の少女がSNSを介して被害にあっている現状を仕事の中で感じ助言、指導の仕方を学ぼうと思った。

## 【セミナーの感想】

- ・いろいろな事例を知ることでインターネットトラブルについて学ぶことが数多くありました。いかに子どもたちにトラブルに向かわないようにするとよいのかヒントを得ることができました。大人が子どもにどう対応することがのぞまれているかも。
- ・とてもわかりやすく、「発信者情報開示請求」、「セーフライン」などの窓口を知ることができ、とてもよかったです。次は是非ツイッターについてお話しいたきたいです。
- ・トラブルになってしまう背景がとてもよくわかりました。単に「それはダメ」と言うのではなく、ツールの特長と当事者の背景を理解することも大切だと思いました。
- ・知識のない者にもわかりやすく教えて頂けてありがたかったです。
- ・SNSを介したトラブルについて具体的にあった事例をふまえて話が聞けて勉強になった。SNSの使い方を改めて考えてみようと思った。また今後も気をつけて利用していきたいと思った。
- ・とてもわかりやすい講演でした。自分を大切にする、人権を守る・考える事が他人を大切にし、他人を人権を守れるんだという子どもに育てていく事の重要性を再認識しました。
- ・この様な問題は学校で教えるべきと思います。
- ・ネットの中で起こっているトラブルの基本をわかりやすく教えていただいて参考になりました。ハダカの写真を撮らせる女の子の心理がわかりました。苦手意識をもたずにこれからもインターネットとつき合っていきます。
- ・時間の関係であろうが、詳しくは本でというのが残念であった。質疑応答で具体的な話が聞けてよかった。
- ・子どもが心を開く相談窓口となるためにという質問に対する答えとても参考になりました。レジメの外の言葉1つ1つ大切に聞けました！今日のセミナーを受講してよかったです。仕事にいかしていきたいです。

◆セミナーには44名の方に参加していただき、40名の方からアンケートのご回答をいただきました。ご回答いただいた内容の一部を掲載させていただいています。紙面の都合上、全てのご回答を掲載できなかった事をお詫び申し上げます。多数のご参加、ご回答、ありがとうございます。心よりお礼申し上げますと共に、今後の参考にさせていただきます。